

令和3年度「スポーツ庁 地域運動部活動推進事業」  
成果報告書

令和3年度  
焼津市地域部活動推進事業



焼津市教育委員会

## 目 次

### 「焼津市中学校部活動の今後の在り方について」

はじめに

- 1 部活動改革の目的・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 部活動改革の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 焼津市地域部活動の形態と今後の構想・・・・ 3
- 4 地域部活動を推進する上での課題・・・・・・・・ 4
- 5 段階的な地域移行と推進スケジュール・・・・ 6
- 6 経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 7 地域部活動化した後に予想される課題・・・・ 12

※印資料は、別紙「資料編」

「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（令和2年9月1日付け）が文部科学省・スポーツ庁・文化庁から示された※1。これにより具体的な方策として①休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降段階的に）、②合理的で効率的な部活動の推進（合同部活動の推進、大会・コンクールの在り方の整理）の2つを推進することが求められている。

こうした国の動きは、「学校における働き方改革に係る取り組み」として進められているが、焼津市としては「教職員の働き方改革」を中心とするのではなく、「生徒のための部活動の充実」を中心とした部活動改革を目指していきたい。さらに、部活動改革を通して、新たな活動の可能性を探り、社会体育・他校種（小学校・高等学校等）との連携から、中学生の活動を中心に、焼津市のスポーツ活動・文化活動の新たな発展と焼津市らしい教育活動（学校教育・社会教育）の推進に繋げていきたい。そして、社会教育におけるこうした生徒の活動が、新たな時代に必要とされる「自ら課題を見つけ、解決していこうとする」探究的な活動に繋がることも期待する。

## 1 部活動改革の目的

- (1) 子供のニーズに応じた活動の場と専門的な指導を受ける機会の確保を目指す。
- (2) 新たな部活動の在り方を探り、創造的・発展的な部活動改革とする。
- (3) 休日の部活動における教師の負担軽減と、持続可能な活動の実現を図る。

## 2 部活動改革の進め方

「休日の部活動の地域移行」が最終的な形であるが、文部科学省・スポーツ庁・文化庁も手探り状態であり、現在は各地域での試行・実践研究を促し、令和5年度以降の段階的な移行を示している。現状では、中体連大会関係や学校部活動と地域部活動の関係、教職員の兼職・兼業、金銭的な問題等、様々な課題があるため、国や関係団体、他地域の状況を見ながら段階的に進めていく必要がある。

まず、アンケート調査等で焼津市内中学校部活動の現状や課題を把握し、新たな地域部活動の企画段階から、学校管理職や教職員に参加してもらい、教育現場の声を大切にしながら、学校・教職員も主体的に取り組めるように進めていく。また、焼津市のスポーツ活動・文化活動の推進・発展という目的を大切に、各協会や連盟、行政からの地域部活動企画段階からの参加者を積極的に募り、焼津市全体として主体的に取り組めるようにしていきたい。具体的には、焼津市生きがい・交流部スポーツ課、焼津市スポーツ協会、市P連代表、中体連役員、中学校教職員（管理職を含む）を委員とする「地域部活動在り方検討委員会」で、部活動改革の方向性や計画、全体に関する課題等を検討する。種目（活動）ごとに、協会や連盟役員、中学校教職員（管理職を含む）等を委員とする「地域部活動推進委員会」を設け、在り方検討委員会からの提案を受け、「地域部活動」を新設するための実務を進めていく。

### 3 焼津市地域部活動の形態と今後の構想

現在の焼津市の部活動参加生徒の人数等から、次の2種類の地域部活動の形態が考えられる。

- (1) 学校単位地域部活動（一部合同部活動）
- (2) 合同地域部活動（エリア制）

(1) 「学校単位地域部活動」は、現在の学校部活動の運営を地域に移行したものである。1校単独で充分部員数が確保でき、逆に合同部活動にすると部員数が多くなり過ぎる活動である。現状では、バスケットボール、サッカー、卓球等が考えられる。ただ、1校では部員数が確保できない学校、もともとその部活動がない学校については、生徒の活動の場の保障から、近隣の学校との合同地域部活動を考える（一部合同部活動）。また、その時の部員数にもよるが、将来的には学校や学区を単位としない地域部活動への移行が適当であると考えられる。

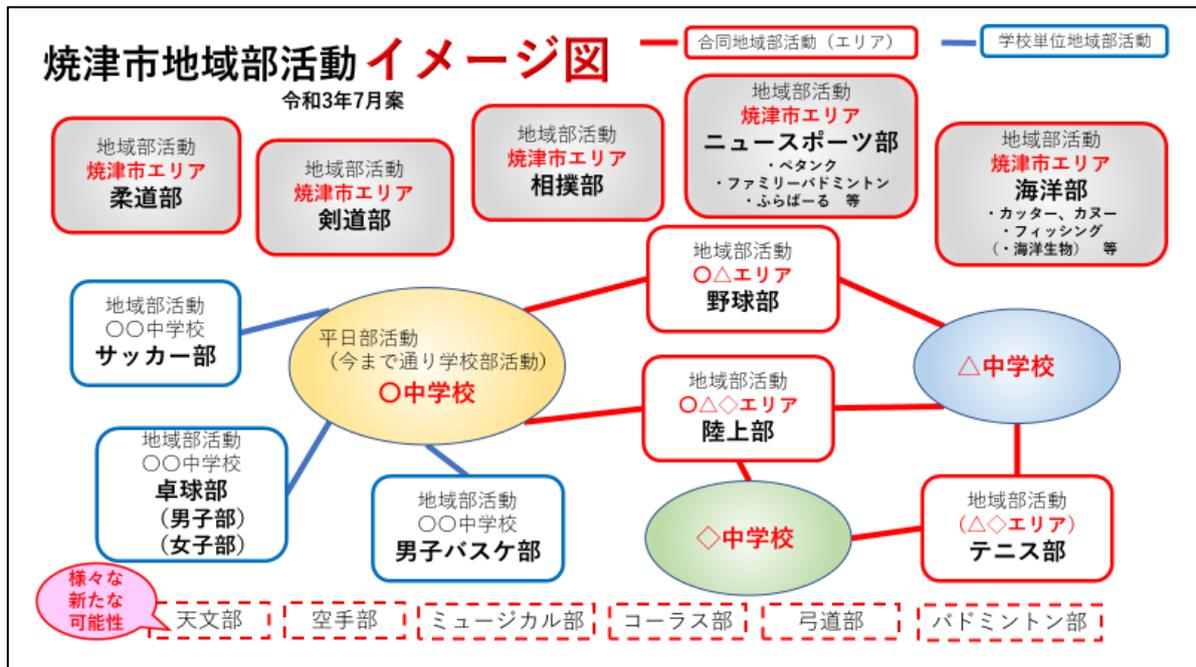
(2) 「合同地域部活動」は、学校単位では部員数が少ない部活動やその部活動がない学校が多い部活動を近隣の学校同士で活動を進める部活動である。中体連の「合同チーム」のように部員数が少ない学校同士で合同するのではなく、なるべく近隣の学校で合同する「エリア制」とする。部員数等から、焼津市全体を「1エリア」とする部活動や焼津市を北部・中部・南部と「3エリア」とするなど、活動によってエリアは変わる。

（右図「焼津市立中学校学区」参照）

また、将来的に社会スポーツ等に発展していくことや指導者の活動の自由性、生徒の選択の自由性を保障するために、エリアについては、基本を示すにとどめ、強制力はない。つまり、生徒は希望によっては、他のエリアの活動に参加できるようにする。将来的には、自由エリア制にし、生徒はその地域部活動の目的で選択する（競技力向上、楽しむ、経験する等）ことができることやトレーニングセンター的活動（選抜を含む）・シーズンスポーツ制・マルチスポーツ制も視野にいれて進めていく。



以上のような地域部活動の形態と、部活動の単なる地域移行ではなく、「競技人口の少ない競技の課題解決を含め、焼津市のスポーツ活動・文化活動の発展」や「焼津市ならではの教育活動の推進」等を考慮し、焼津市地域部活動を次のイメージ図のように構想した。



※2

#### 4 地域部活動を推進する上での課題

現状から、地域部活動を設立・推進するためには、様々な課題が考えられる。

- (1) 指導者・代表者の確保  
(教職員の参加希望者について)
- (2) 活動場所の確保
- (3) 活動資金の確保
- (4) 中体連「合同チーム参加規程」等との関連 等

(1) 指導者・代表者については、現在も学校外の方に指導を仰いでいる活動はよいが、前述の学校単位地域部活動に関しては、指導者の不足が予想できる。協会等に協力をお願いすることはもちろんであるが、焼津市に勤務する教職員の希望をとると共に、近隣市と連携し、焼津市在住教職員への協力も仰がなければならない。

(2) 活動場所については、市の施設についてはスポーツ課にお願いし、地域部活動として使用する場合は、「減免」「優先予約」をお願いしたい。また、段階的に地

地域部活動化していくため、一時期休日の学校部活動と地域部活動が共存する。この場合は、該当校の部活動活動場所のローテーションに学校部活動と同様に地域部活動も入れてもらう。学校部活動が少ない学校にもお願いすることができる。完全地域部活動化後は、休日の学校施設利用は、スポーツ課への申請となる。

- (3) 活動資金の確保については、「受益者負担」として、保護者負担としたい。主に、「保険料」「指導者謝金」「活動場所使用料」「用具購入金」等が考えられるが、以下のことを参考に地域部活動ごとに運営内容と共に検討をお願いしたい。

**【参考】**

- ・教職員特殊勤務手当（静岡県）
  - 一般部活動・・・3時間以上 2,700円
  - 対外試合等・・・4時間以上7時間45分未満 3,600円
  - 7時間45分以上 5,100円
- ・部活動指導員の謝礼は、時給 939円（焼津市）
- ・外部指導者の謝礼は、1回（1日）2,000円（焼津市）
- ・焼津市のスポーツ少年団の月会費は、1,000円～5,000円  
（ただし、スポーツ少年団指導者は無償ボランティア）

種目の特性や部員数によって、変わるため基準は設けず、該当活動に任せたい。また、将来的な継続性や若手指導者の充実を考えると、指導者への十分な報酬が必要になると考える（指導者のボランティア的ではなく、職業的な活動へ）。

ただし、当面の間教育委員会が広報活動を行うことと、地域活動設立当初は保護者や生徒、教職員の不安等が考えられるため、保護者から徴収する地域部活動費を含む運営計画と年度末の会計報告、運営報告の提出を求め、教育委員会が運営状況を把握する。生徒の傷害保険等への加入を含めた、運営上の指導や指導者研修も各所にご協力いただきながら、教育委員会が行う。将来的には、スポーツ課への移行等が適当であると考えられる。

- (4) 中体連「**合同チーム参加規程**」※3では、勝利主義への傾斜の懸念と生徒が大会参加するための最低限の公平条件確保から、個人種目のない部活動で、部員数が少ない学校同士が合同チームを組むことが基本となっている。あくまで学校単位を基本とする大会であり、エリア制の考え方ではないため年度によって合同するチームは変わる。令和3年度から一部地域において特例的にエリア制的な合同チームの大会参加が認められており、今後エリア制も認められるような規定への見直しが予想される。

焼津市としては、状況を見守りながら、「合同チーム参加規程」に縛られない「個人種目のある部活動」から段階的に地域部活動への移行を進める。

## 5 段階的な地域移行と推進スケジュール

前述の現状での課題から、次のように段階的な地域移行を進める。

### (1) 令和3年度

- ①焼津市地域部活動推進計画・要綱※4等の策定
- ②現状でできる合同部活動の確認と移行期における配慮（中学校長会）
  - ・合同部活動指導依頼書等※5
- ③部活動の現状※6と教職員の意識調査（アンケートにて）
- ④関係団体・関係者への説明・相談
- ⑤「地域部活動在り方検討委員会」の開催（年間4回）
  - 「焼津市地域部活動の方向性」「推進計画」「要綱」等の検討
  - 令和4年度より、実施種目の決定
    - ・合同チーム規定に縛られない「個人種目のある部活動」
    - ・現在も競技の専門性が高く、学校外指導者の関わりが深い部活動

↓

「柔道」「剣道」「相撲」

  - ・新たな（部）活動としてのイメージが持ちやすい活動
  - ・焼津市らしい活動のイメージが持ちやすい活動

↓

「ニュースポーツ」「海洋」
- 「令和4年度実施地域部活動推進委員会」推進委員の人選
- 各推進委員会に関する課題等の検討
- ⑥「令和4年度実施地域部活動推進委員会」（上記5種目）の開催  
（全体会年間3回、次年度1回、各部会は随時）
  - 各種目運営方法の検討 等
  - 開設に向けての活動（指導者人選等も含む）
  - 全体会にて、各部の課題 等
- ⑦教職員・保護者・生徒・市民への広報活動※7
- ⑧地域部活動開設までの流れ※8

## (2) 令和4年度

- ① 令和4年度実施種目（5種目）の運営等について
- 部員募集と活動開始（5～6月）・・・学校部活動開始5月とずらす。
  - 活動の様子を紹介する広報活動（新聞・TV・広報やいづ）
  - 指導者研修会への参加（「スポーツ少年団母集団研修」6月）
  - 「令和4年度実施地域部活動推進委員会」の開催（第4回）
    - ・ 運営状況の確認と課題
  - 令和5年度焼津市地域部活動指導者研修会の在り方について※9
  - 他市との連携について（特に教職員指導者の確保）
- ② 「地域部活動在り方検討委員会」の開催（年間4回）
- 令和4年度実施種目の運営状況や課題について
  - 令和5年度より実施種目の決定
    - ・ 合同チーム規定に縛られない「個人種目のある部活動」  
↓  
「陸上」「ソフトテニス」「卓球」「水泳」  
・ 新たな（部）活動としてのイメージが持ちやすい活動  
・ 焼津市らしい活動のイメージが持ちやすい活動  
↓  
「天文・科学」
  - 「令和5年度実施地域部活動推進委員会」推進委員の人選
  - 各推進委員会に関する課題等の検討
- ③ 「令和5年度実施地域部活動推進委員会」（上記4種目）の開催  
（全体会年間3回、次年度1回、各部会は随時）
- 各種目運営方法の検討 等
  - 開設に向けての活動（指導者人選等も含む）
  - 全体会にて、各部の課題 等
- ④ 「令和5年度焼津市地域部活動指導者研修会」の開催（2月）
- 9地域部活動による実施
  - 各書類・広報内容の確認
- ⑤ 教職員・保護者・生徒・市民への広報活動
- ⑥ 教職員の意識調査（再）
- ⑦ 令和6年度実施予定種目指導者の人選開始（各学校推薦）

### (3) 令和5年度

- ① 令和4・5年度実施種目（9種目）の運営等について
- 部員募集と活動開始（3～5月）・・・学校部活動開始と合わせる。
  - 活動の様子を紹介する広報活動（新聞・TV・広報やいづ）
  - 「令和5年度実施地域部活動推進委員会」の開催（第4回）
    - ・ 運営状況の確認と課題
  - 令和6年度焼津市地域部活動指導者研修会の在り方について
  - 令和6年度焼津市地域部活動推進事業要綱の検討
  - 新規に地域部活動化を希望する活動の取り扱いについて
  - 令和6年度以降の「焼津市部活動補助金」等について
    - ・ 保護者負担を減らす方策
    - ・ 準要保護家庭への配慮
- ② 「地域部活動在り方検討委員会」の開催（年間4回）
- 令和4・5年度実施種目の運営状況や課題について
  - 令和6年度より実施種目の決定
    - ・ 団体種目のみの活動
- ↓
- 「野球」「バレーボール」「吹奏楽」  
「サッカー」「バスケットボール」
- ・ その他、地域部活動化を希望する活動
- ③ 「令和6年度実施地域部活動推進委員会」（上記5種目+ $\alpha$ ）の開催  
（全体会年間3回、次年度1回、各部会は随時）
- 各種目運営方法の検討 等
  - 開設に向けての活動（指導者人選（学校推薦）等も含む）
  - 各種目別指導者部会の開催（必要な種目は随時）
  - 全体会にて、各部の課題 等
- ④ 「令和6年度焼津市地域部活動指導者研修会」の開催（2月）
- 14+ $\alpha$  地域部活動による実施
  - 各書類・広報内容の確認

(4) 令和6年度(令和7年度)

- ① 令和4・5・6年度実施種目(14+α種目)の運営について
- 部員募集と活動開始(3~5月)・・・学校部活動開始と合わせる。
  - 活動の様子を紹介する広報活動(新聞・TV・広報やいづ)
  - 「令和6年度実施地域部活動推進委員会」の開催(第4回)
  - 焼津市地域部活動推進事業要綱の最終調整
- ② 「地域部活動在り方検討委員会」の開催(年間2回)  
(令和7年度も1回実施)
- 令和4・5・6年度実施種目の運営状況や課題について
  - 新規地域部活動の検討(参入企業等の募集を含む)
  - 「焼津市地域部活動連合会」について※10
  - 他市等の状況について
  - 焼津市地域部活動の課題と今後の在り方について

※11

焼津市地域部活動 推進スケジュール (令和4年2月案)		合同地域部活動(エリア部活動)		学校単位地域部活動(一部合同)							
		令和3年度現在におけるスケジュール案です。文科省、中体連との関係等から変更もあり得ます。									
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事務局		・全体方針・方向性・要綱の作成 ・各委員の人選・面談等 ・具体的な取り組み案 <b>第4回推進委は次年度</b>		・全体方針・要綱等の修正 ・運営に関する注意事項 ・推進委員・代表者人選(学校との協議) ・スポーツ少年団との連携		・全体方針・要綱等の修正 ・運営状況の確認・課題 ・推進委員・代表者人選(学校との協議) ・部活動補助金について		・要綱・運営規則等の完成 ・運営状況の確認・課題 ・学校教育課からスポーツ課へ(広報活動の在り方) ・地域部活動連合会発足に向けて		・今後の地域部活動の在り方 ・連合会発足と総会の在り方 ・要綱一連全会規則	
在り方検討委員会		第1回5/28 第2回7/20 第3回10/1 第4回2/7		第1回5/27 第2回9/8 第3回11/29 第4回2/8		第1回5/27 第2回10/27 第3回2/24 <b>(第4回9/ )</b>		第1回5/27 第1回8/27 第2回9/8 第2回10/27 第3回11/29 第3回2/24 <b>(第4回9/ )</b>		第1回6/27 第2回11/27	
推進委員会		第1回5/28 第2回7/20 第3回10/1 第4回2/7		第1回5/27 第2回9/8 第3回11/29 第4回2/8		第1回5/27 第2回10/27 第3回2/24 <b>(第4回9/ )</b>		第1回5/27 第1回8/27 第2回9/8 第2回10/27 第3回11/29 第3回2/24 <b>(第4回9/ )</b>		第1回6/27 第2回11/27	
1 柔道	すべて1エリアを基本	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
2 剣道		推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
3 相撲		推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
4 ニュースポーツ		推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
5 海洋		推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
6 陸上	4または5エリア?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
7 ソフトテニス	4エリア?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
8 水泳	1エリア	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
9 天文	1エリア	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
10 卓球	男女合同(指導は別)?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
11 野球	4または5エリア?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
12 吹奏楽	合同か、学校単位か?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
13 バレーボール	男女合同(指導は別)?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
14 サッカー		推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
15 バスケットボール	男女合同(指導は別)?	推進委員会(第1~3回)		部員募集 母集団研修会(6月) 第4回推進 活動開始		指導者研修会(2月) 募集 2年目活動		指導者研修会(2月) 募集 3年目活動		指導者研修会(2月) 募集 4年目活動	
その他(新規)		令和5年度まで(予定)は、他の地域部活動と同じように「推進委員会」対応、その後は個々に教育委員会対応(一連全会対応)									

## 6 経過

令和3年

- ・ 4月14日 「焼津市合同部活動推進事業ディレクター」の委嘱※9
- ・ 4月19日 焼津市中学校部活動顧問者会議（焼津中）
- ・ 4月30日 焼津市校長会理事会（奥川指主）
- ・ 5月6日 焼津市校長会と校長会中学校部会（奥川指主）
  - ・ 地域部活動（合同部活動）第1次案の提案
  - ・ 在り方検討委員長及び委員人選のお願い
- ・ 5月11日 港中中島教諭と面談（奥川指主）
  - ・ 地域部活動（相撲）について
  - ・ 推進委員について
- ・ 5月13日 大井川東小鈴木宏尚教諭と面談（奥川指主）
  - ・ 地域部活動について、社会教育の立場から
  - ・ スポーツ課、スポーツ協会について
- ・ 5月19日 焼津市スポーツ協会河野事務局長と面談（池田課長・奥川指主）
  - ・ 地域部活動に関するスポーツ協会としての協力をお願い
  - ・ 在り方検討委員会への出席のお願い
  - ・ 推進委員人選に関する協力をお願い
- ・ 5月28日 **第1回地域部活動在り方検討委員会**  
(大井川商工業研修センター) ※12
- ・ 6月7日 大井川東小鈴木宏尚教諭と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ ニュースポーツ部について
  - ・ 推進委員の人選のお願い
  - ・ スポーツ障害保険について
- ・ 6月8日 保険会社との面談（奥川指主）
  - ・ サンエス保険 小出様
  - ・ チャブ保険 細田様
- ・ 6月9日 焼津市校長会中学校部会（奥川指主、下橋D）
  - ・ 地域部活動の今後の方向性提案
  - ・ 推進委員（管理職、教員）の推薦願
  - ・ 部活動について校長からの調査※13
- ・ 6月11日 焼津市運動部活動調査の実施
  - ・ スプレッドシートによる調査（締め切り7/2）
- ・ 6月16日 焼津市スポーツ協会河野事務局長と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 検討委員会出席のお礼
  - ・ 各種目検討委員推薦のお願い
  - ・ スポーツ少年団について
  - ・ ニュースポーツに関して（各協会）

- ・ 6月21日 焼津市柔道連盟阿部敏明会長と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 地域部活動（柔道）について
  - ・ 推進委員推薦のお願い
- ・ 6月29日 焼津市校長会中学校部会（奥川指主、下橋D）
  - ・ 推進委員（管理職、教員）について
  - ・ 令和5年度以降の方向性について
  - ・ 教員への広報について
- ・ 6月30日 焼津市剣道連盟増田吉久顧問と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 地域部活動（剣道）について
  - ・ 推進委員推薦のお願い
- ・ 7月 1日 焼津市相撲連盟下村勝彦会長と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 地域部活動（相撲）について
  - ・ 推進委員推薦のお願い
- ・ 7月 6日 和田中学校寺田徹校長と面談（下橋D）
  - ・ 地域部活動（海洋）について
  - ・ 水産高校との関係について（事前相談を含む）
- ・ 7月19日 焼津水産高校靱山誉人教諭と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 水産教育研究会へのご協力のお礼
  - ・ 地域部活動（海洋）について
  - ・ 校長先生へのご挨拶について
- ・ 7月20日 **第2回地域部活動在り方検討委員会※14**  
 （大井川商工業研修センター） **※12**
- ・ 7月26日 スポーツ課伊東係長と面談（奥川指主）
  - ・ 第2回検討委員会の報告
- ・ 7月27日 地域部活動情報交換会：県庁（奥川指主）
- ・ 8月 5日 焼津水産高校沼里智彦校長と面談  
 （寺田校長、奥川指主、下橋D）
  - ・ 水産教育研究会へのご協力のお礼
  - ・ 靱山教諭のご協力のお礼
  - ・ 地域部活動（海洋）について
- ・ 8月10日 焼津市スポーツ少年団村松章本部長と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ スポーツ少年団の運営方法について
  - ・ 少年団規約、育成会について
- ・ 8月11日 デイスカバーパーク焼津鳥居修明課長補佐と面談（奥川指主、下橋D）
  - ・ 地域部活動（天文科学部）の可能性について
- ・ 8月17日 焼津市スポーツ少年団村松章本部長と面談（奥川指主）
  - ・ 少年団規約、育成会について
- ・ 8月27日 **第1回地域部活動推進委員会**  
 （大井川商工業研修センター） **※15**

- ・ 9月 7日 焼津市校長会中学校部会で報告（下橋 D）
- ・ 9月 10日 鈴木宏尚推進委員、池田加代推進委員（ニュースポーツ）と面談（下橋 D）
- ・ 9月 28日 焼津市校長会にて中間報告（奥川指主）
  - ・ 教職員向け配布資料と推進スケジュールについて
- ・ 9月 29日 教育委員会内での経過報告と方向性の確認（教育長・局長・課長・主席・奥川指主・下橋 D）
- ・ 9月 30日 「柔道部」推進部会開催（大井川中）
- ・ 10月 1日 **第3回地域部活動在り方検討委員会※16**  
（大井川商工業研修センター）
- ・ 10月 4日 「ニュースポーツ部」推進部会開催（豊田中）
- ・ 10月 14日 市長・副市長レク  
「海洋部」推進部会開催（焼津水産高校）
- ・ 11月 2日 焼津市校長会中学校部会にて、確認・協議  
（奥川指主、下橋 D）
  - ・ 地域部活動開始までの流れ、学校施設の管理について(確認)
 教職員向けリーフレット「部活動が変わります」No.1 配布※17
- ・ 11月 4日 **第2回地域部活動推進委員会 ※18**  
（大井川商工業研修センター）
- ・ 11月 8日 焼津市議会議長・副議長レク、会派代表者会での説明
- ・ 11月 10日 焼津高等学校、焼津中央高等学校への説明
- ・ 11月 11日 清流館高等学校への説明
- ・ 11月 15日 MSR（バスケットクラブ）前島英人代表と面談
- ・ 11月 29日 焼津市校長会理事会での説明
  - ・ 保護者向けリーフレットの確認
- ・ 12月 2日 焼津市校長会中学校部会にて説明
  - ・ 大会等の参加について
- ・ 12月 13日 「剣道部」推進部会開催（焼津中学校）
- ・ 12月 16日 「相撲部」推進部会開催（港中学校）  
教職員向けリーフレット「部活動が変わります」No.2 配布 ※19
- ・ 12月 20日 児童生徒・保護者向けリーフレット  
「地域部活動が始まります」No.1 配布（小5～中2）※20

#### 令和4年

- ・ 1月 1日 広報やいづに掲載 ※21
- ・ 1月 11日 静岡新聞社取材
- ・ 1月 12日 スポーツ課・教育総務課・学校教育課での協議
- ・ 1月 13日 教育新聞（静岡版）に掲載 ※22
- ・ 1月 15日 静岡新聞に掲載 ※23
- ・ 1月 26日 水泳協会との面談

(兵庫伸房理事長・望月誠理事・福井秀和理事)

静岡 STEM アカデミー増田俊彦シニアメンターと面談 (科学部)

- ・ 1月27日 バスケットボール協会との面談  
(中野弘道会長、杉山文則事務局長、石川雅一会計)
- ・ 1月28日 焼津市校長会中学校部会にて説明  
・ 部活動アンケート結果報告  
・ 学校施設の一般開放について (提案)
- ・ 1月31日 「剣道部」推進部会開催 (焼津中学校)
- ・ 2月 7日 **第4回地域部活動在り方検討委員会** (焼津市役所本庁) ※24
- ・ 2月 9日 焼津水産高校小林克巳事務長との面談
- ・ 2月16日 焼津高校橋本健史教諭と面談 (トランポリン)
- ・ 2月21日 焼津市水産教育研究会との面談 (海洋部について)
- ・ 2月24日 **第3回地域部活動推進委員会** (大井川商工業研修センター) ※25
- ・ 3月 7日 焼津市地域部活動募集案内の配布 (小6～中2)

## 7 地域部活動化した後に予想される課題と焼津市としての取り組み

学校教育で網羅的・統一的に行われていた部活動がなくなり、地域部活動化が進むと、新たに様々な課題が生まれてくると考えられる。ある意味仕方がないことではあるが焼津市としてどのような姿勢で関わるかが大切になると考える。

### 【予想される課題】

(1)中学生の競技力や基礎体力の低下、運動経験の減少

(2)指導者の不足とそれに伴う地域部活動(クラブ)の数や種類の減少

(1)運動は苦手でも何らかの活動に所属し、まずは経験的に運動に関わる生徒が多い現状と違い、最初から選択制になり、運動を選ばない(何も選ばない)生徒が徐々に増えていくことが予想される。それは、中学生の運動経験の減少や基礎体力の低下に直接つながると予想できる。週3時間の体育の授業では、とても補えないであろうし、学校教育へこれ以上の負担をかけるわけにはいかないであろう。また、経験する中で楽しさを見つけ、徐々に競技に夢中になる機会が少なくなることから、各競技の競技人口が減ったり、それに伴い競技力が低下したりすることが予想される。

したがって、焼津市として、焼津市スポーツ課や焼津市スポーツ協会を中心に子供たちに如何にスポーツの魅力を伝えていくかが大切になる。「焼津市民スポーツ祭」や「土岐市とのスポーツ交流」のように、「市として如何にスポーツ文化を形成していくかを今以上に構想すること」が大切になると考えられる。今まで、学校教育に任せてきた小中学生のスポーツ文化形成を「スポーツ宣言都市焼津」としてど

う取り組むかが大切である。とりあえず、「焼津市民スポーツ祭」の中学生の部、「土岐市との交流」の中学生の部を地域部活動や各競技協会に移行していく必要がある。

また、市としてスポーツ振興に係わる方策として、経済面等での支援は欠かせない。活動場所として、学校施設の利用は現在の方法の延長として問題はないと考えられるが、減免や優先予約は欠かせない。学校以外の公共施設の利用についても、一般市民利用とは別扱いの減免の方向で検討の必要がある。さらに、スポーツの多様性を考えると現在整備されていない「武道場」や「市民プール」「ローラースケート場」等の施設の検討も必要となる。保護者負担の軽減の観点からも、現在行われている「焼津市部活動補助金」（物品購入補助、県内大会補助、全国大会補助）を、「焼津市地域部活動補助金」に切り替えることや、現在報奨金として補助されている部活動以外での全国大会出場者への報奨金の在り方も検討する必要があると考える。**【※参考】**

スポーツ少年団や地域部活動等の活動を入り口として、子供たちがより高みを目指す競技性の高い活動や3世代が笑顔でスポーツに親しむ活動へと繋がるよう、焼津市としてどのように関わることがより重要になると考える。

**【※参考】**

①令和2年度中学校部活動への補助金（焼津市）

- ・ 東海・全国大会補助・・・参加生徒の旅費・宿泊費の実費補助
- ・ 物品購入、県内大会・・・計 2,160,000 円、一人当たり約 600 円  
（令和2年度焼津市内中学生人数約 3,500 名で試算）  
（注意：焼津市部活動補助金は令和6年度まで必要である。）

②部活動以外で、全国大会出場への報奨金（焼津市）

- ・ 個人 5,000 円
- ・ 団体 30,000 円

(2) 現在、中学校の部活動はその活動に熱心に取り組む教師によって支えられている。部活動指導に取り組む中で、教師自身もその競技やその指導に魅力を感じ、ボランティアの意識もなく、熱心に取り組んでいる。今後、学校部活動が平日のみに、さらには平日も地域部活動化が進めば、このような教師は減ってくる。現在は、教職員現職やOBがスポーツ指導者になることが期待できるが、それも徐々に減ってくるであろう。現在は、生徒数から考えて、エリア制合同部活動を企画しているが、指導者のさらなる不足や高齢化等の課題から地域部活が続けられない状態も予想できる。したがって、若手指導者を育成や養成するために、スポーツ指導が職業的になることが大切であると考え。無償ボランティアではなく、指導者への報酬も当たり前のことと考えていきたい。

ただし、指導者報酬も保護者負担となるため、経済的な理由から指導を受けられない生徒がいないように、焼津市として経済的な支援も考慮しなくてはならない。学校教育活動と同じように、要保護・準要保護家庭への支援も必要であると考え

## 8 スポーツ庁政策課より求められている内容について

以下の5つの点については、ここまでの報告書の中で点在して述べられているが、ここではそれぞれについて取り出して述べることにする。

### 【どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか】

焼津市では、まず地域部活動在り方検討委員会を開催し、部活動の今後の在り方や次年度以降の地域部活動移行種目についての検討を行った。在り方検討委員会のメンバーは、校長会代表、教頭会代表、教諭代表（中体連事務局）、部活動指導員代表、市スポーツ課、市スポーツ協会、市PTA連絡協議会代表、市教育委員会である。

在り方検討委員会の決定を受け、地域部活動推進委員会を開催し、次年度開設の種目について検討や準備を行った。推進委員会のメンバーは校長、教諭、各種目の指導者や市競技連盟の役員等である。推進委員に学校の代表者（校長および教諭）と市競技連盟役員（会長、事務局長等）の双方が入っており、そこに地域部活動（団体）代表者も入って協議することで、次年度からの開設に向けて、多くの視点から議論ができる良さがある。なお、推進委員会では全体会と種目別会合を行う。全体会で他種目の動向も知ることができるため、自分たちのクラブ運営計画に生かすことができる。

### 【どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか】

推進委員会での議論活性化が地域部活動開設の準備には欠かせない。そのため推進委員の人選は重要事項である。

地域部活動在り方検討委員会の中に、市スポーツ協会（旧体育協会）の事務局長が委員となっている。市スポーツ協会は市の各競技連盟を取りまとめているため、競技連盟役員を推進委員に推薦する際に、大きな役割を果たしている。地域移行の推進には、学校関係者、競技連盟をはじめとした地域の指導者の双方が同じ議論の席に着くことから始まるため、市教委としては学校等にも相談しつつ、市スポーツ協会の力を借りて人選した。

### 【どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか】

・地域部活動在り方検討委員会で検討があった内容については、市校長会中学校部会で共有するようにしている。

・市としてどのように推進するのか、どのように児童生徒・保護者に本事業を浸透させるか、については教職員向け、児童生徒向けそれぞれのリーフレットを市教委で作成した。また、本事業については市議会での答弁等を通して市議の理解も図るようにしている。

・保護者については、現状、児童生徒向けリーフレットや市の広報紙、市ホームページ等で広報をする中で理解を図っているが、今後先行実践が始まる中で、課題としてクローズアップされる可能性が大きい。受益者負担の考え方の中で、経済的な支援が必要な家庭については生徒の活動に制限が出てくる恐れもある。市としての支援には限界があるため、国での検討を注視している段階である。

【どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか】

今後、指導や運営を希望する教員が増えた際に、勤務地で行うのか居住地で行うのかの選択に迫られる場面が出てくることが予想される。近隣市町で教員の取り合いになることを避けるため、校長会を通じて情報共有を図るようにしている。また、市町の指導主事間での情報共有も行っている。その影響もあり、近隣市町でも少しずつ休日部活動の地域移行に関する議論が始まっており、来年度に試行を行うということも耳にするようになってくる。

【実践研究における活動実績や得られたデータ】

部活動アンケート2021 vol. 1（教職員向け）まとめ

令和4年1月28日

（アンケート期間 令和3年12月16日～令和4年1月14日 Googleフォームにて）

設問1 あなたは地域部活動の指導をしてみたいと思いますか？

やってみたい 13人(6.5%) 興味がある 27人(13.5%) 現在は考えていない 159人(80%)

設問2 あなたは地域部活動の運営(経営)をしてみたいと思いますか？

やってみたい 5人(2.5%) 興味がある 23人(11.6%) 現在は考えていない 171人(85.9%)

設問3 現在ある学校部活動以外に「こんな地域部活動があると子供のためになる」、「子供たちが喜びそうだ」、というものがありましたら、ご記入ください。

演劇、軽音楽、水泳、ゴルフ、テニス(男子)、バドミントン、ドッジボール、合宿、吹奏楽、色々なスポーツをやる部活、ボランティア、総合部活、料理、裁縫、将棋、囲碁、麻雀、ラグビー、野外活動、弓道、合気道、空手、ダンス、eスポーツ、プログラミング、科学探究、環境関連、プロジェクトアドベンチャー、地域ボランティア、スケートボード、チアリーダー、書道、陶芸、SDGs、勉強、写真、硬式テニス、ロボット工作、茶道、華道、山岳、女子サッカー、クライミング、百人一首、バラスポーツ、

「斜体下線」は、現在予定している地域部活動、又は早期に実現可能な地域部活動

その他

- ・何か1つのスポーツに特化したクラブではなく球技、武道、器械運動、軽スポーツなど幅広く経験させることができるクラブ。なかなか実現は難しいですが喜びそうです。
- ・専門競技を極めている方々と関わる機会（現役のプロ選手やプロ指導者）・・・種目ごとに地域差はあるが、プロの方々にとってはファンや応援してくれる方々の拡充に繋がる。
- ・管弦楽（オーケストラ）、合唱、ハンドボールなど、現在学校部活動になく、1つの中学校で編成が難しいであろう集団競技や種目。
- ・運動の話になりますが、体験したことがない・体験する機会がない・シーズンの限られているなどの運動をすることができる、生涯継続していく選択肢の幅が広がると思います。（実施できる場所の確保が大変かと思いますが。）
- ・少年団も存続が危ぶまれています、今後の地域活動は部活動だけでなく、小学生も含めた地域クラブの活動にもカテゴリーは広がると思います。小学校の先生も副業として活動可能な情勢になることをアナウンスすべきとも考えます。さらに、それぞれの競技団体の協会とも連携を取り、社会人コーチやその資格(ライセンス)も含めた指導者の資質確認も必要と感じます。
- ・具体的な活動があると思いますが、まずは各校でかつてこんな部活動があったというものを洗い出すことをやったらどうでしょうか。
- ・すでに動き始めていますが、「海洋関係」の部活動は、魅力です。
- ・どんな競技でも同じ競技で、競技性を求める部と、楽しむための部があると生徒が選べて良いのではないのでしょうか？